



平成 28 年 6 月 1 日
株式会社 博報堂 D Yホールディングス
株式会社 LGBT 総合研究所

**博報堂 D Yグループの株式会社 LGBT 総合研究所、6 月 1 日からのサービス開始にあたり
LGBT をはじめとするセクシャルマイノリティの意識調査を実施
—セクシャルマイノリティに該当する人は約 8.0%。LGBT に該当する人は約 5.9%—
—消費支出、旅行・ペット関連・芸術鑑賞などで LGBT 層に高い傾向—**

博報堂 D Yグループの、LGBT に代表されるセクシャルマイノリティに関する専門シンクタンクである株式会社 LGBT 総合研究所（東京都港区、代表取締役社長:森永貴彦）は、6 月 1 日よりサービスを開始しますのでお知らせします。

サービス開始にあたり、LGBT 総合研究所では、LGBT に関する意識調査を実施しました。全国の 20～59 歳の個人 100,000 名（有効回答者数 89,366 名）を対象に実施したスクリーニング調査の結果、LGBT に該当する人は約 **5.9%**（レズビアン：1.70%、ゲイ：1.94%、バイセクシャル：1.74%、トランスジェンダー：0.47%）、また LGBT にあてはまらない Aセクシャル（※1）など、その他のセクシャルマイノリティに該当する人は約 2.1%となりました。

【ご自身のセクシャルリティについて】

セクシャルリティ	人数	出現率
ストレート	82,232	92.02%
レズビアン	1,522	1.70%
ゲイ	1,731	1.94%
バイセクシャル	1,557	1.74%
トランスジェンダー	418	0.47%
Aセクシャル	651	0.73%
その他	1,254	1.40%
有効回答者計	89,366	100.00%

5.9% (レズビアン, ゲイ, バイセクシャル, トランスジェンダー)
2.1% (Aセクシャル, その他)
8.0% (LGBT層)

今回、ストレート（※2）層、および LGBT 層に対し、生活意識・消費意識などを幅広く調査しています。LGBT 総合研究所では、この定量調査と、当事者へのデプスインタビュー調査などをベースに、市場分析やソリューション企画の立案を行います。また、博報堂 D Yグループ各社等と連携しながら、企業・自治体の LGBT に対する CSR 活動からマーケティング活動までのサポートを一貫して実施いたします。

※1 Aセクシャル：無性愛者。他者に対し、性的指向を持たない層。

※2 ストレート：セクシャルマイノリティに該当しない層。

<本件に関するお問い合わせ先>

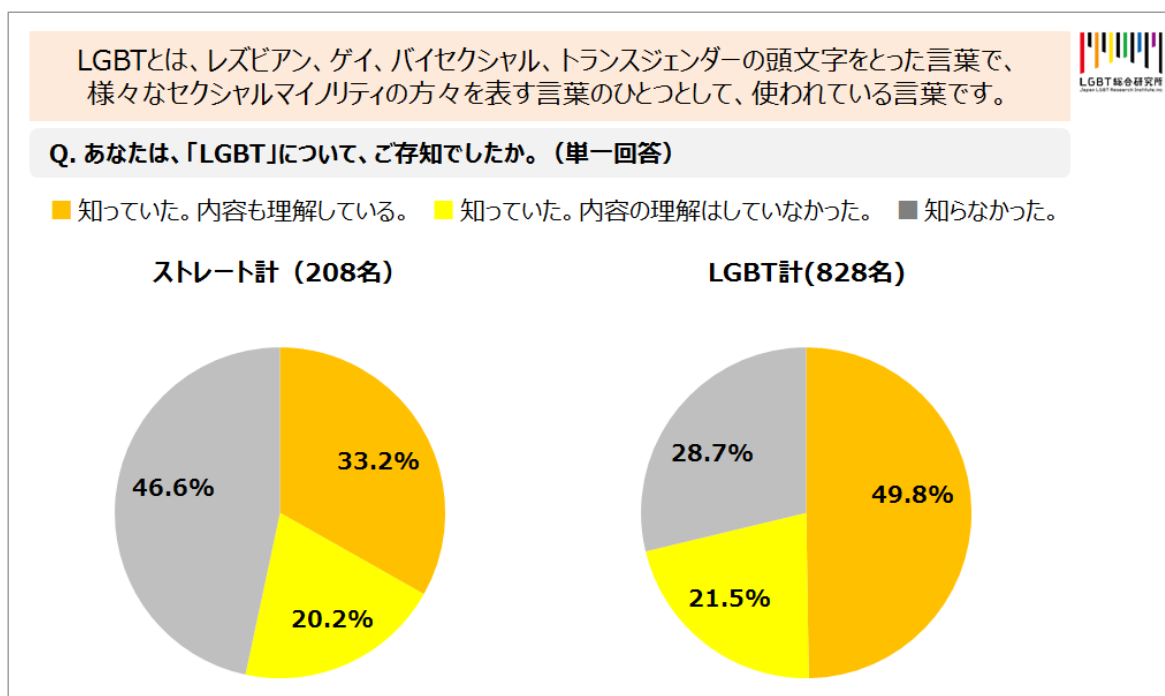
報道関係者のお問い合わせ 博報堂 D Yホールディングス グループ広報・I R室 竹本・藤井 (03) 6441-9062
事業・調査に関するお問い合わせ 株式会社 LGBT 総合研究所 森永・東松 (03) 6441-9059

※参考資料

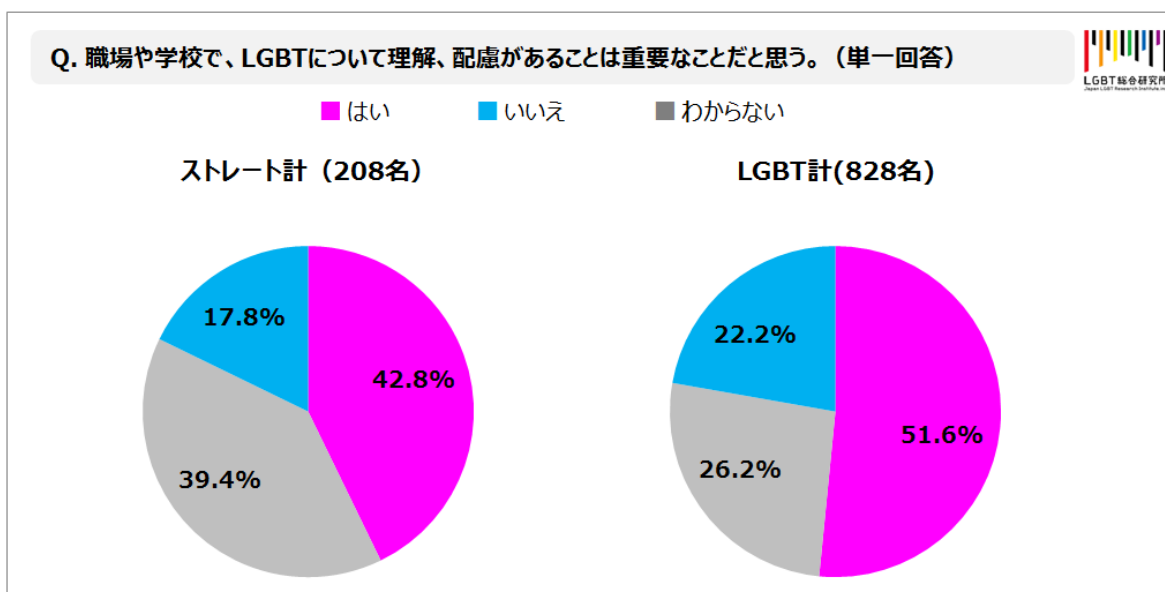
以下、調査で得られたファインディングスの一部をご紹介します。

なお、全国 20～59 歳のストレート層 200 名超、L・G・B・T 層それぞれ 200 名超、合計 1,036 名に調査しています。（詳しい調査概要は次ページをご覧ください）

1. 「LGBT」という言葉の認知は、セクシャルマイノリティに該当しないストレート層でも過半数を越えていました。セクシャルマイノリティに関する様々な呼称の中でも、「LGBT」という言葉の認知は高まってきているといえます。



2. 職場や学校において、LGBT についての理解、配慮が重要であるという意識については、ストレート層では 4 割を超え、LGBT 層では 5 割を超える結果となりました。今後ますます、企業・自治体等でも LGBT への理解を深めるなどの対応が求められる可能性があります。



3. LGBT 層の消費に着目すると、海外・国内旅行、ペット関連商品やサービス、芸術鑑賞などの項目で非常に高い消費支出傾向が見られました。顧客としての LGBT をはじめとするセクシャルマイノリティの方々を意識した、企業・自治体の対応などが求められていくことも想定されます。

Q. 以下の分野ごとに、ひと月あたりのおよその支出金額をそれぞれお答えください。

※毎月の支出が無い場合、月に平均した場合の金額をお答えください。



ひと月当たりの支出金額 (円)	ストレート計 (208名)	LGBT計 (828名)
海外旅行 (年間利用金額をひと月あたりに換算)	7,721	20,926
ペット関連商品・サービス	1,415	3,642
国内旅行 (年間利用金額をひと月あたりに換算)	8,024	17,310
芸術鑑賞(映画・音楽・美術館・観劇など)	1,628	3,444
スポーツ・ジム関連商品・サービス	919	1,396
自宅での飲酒 (アルコール)	3,207	4,621
ファッション (衣類・靴・アクセサリなど)	6,505	8,630
自宅での食費	35,663	47,264
外での飲料・飲酒	4,013	5,221
その他趣味・レジャー	4,310	5,165
家具・インテリア	1,438	1,709
自宅での飲料 (非アルコール)	2,756	3,271
医療・健康関連商品・サービス	3,395	3,855
化粧品・理美容関連商品・サービス	3,580	3,869
外での食費	9,101	9,524
交際費(プレゼント・贈答品、冠婚葬祭費など)	5,899	6,109

<事前スクリーニング調査の概要>

- ・調査対象：20～59 歳の個人 100,000 名 (うち有効回答数：89,366 名)
 ※集計にあたっては 20～59 歳男女の人口構成比に応じたウェイトバック集計を実施。

- ・調査対象エリア：全国
- ・調査時期：2016 年 5 月 16 日～19 日
- ・調査手法：インターネット調査

<「LGBT に関する生活意識調査」の概要>

- ・調査対象：20～59 歳の個人 1,036 名
- ・割付設計：LGBT 層該当者 828 名/ストレート該当者 208 名)
- ・調査対象エリア：全国
- ・調査時期：2016 年 5 月 19 日～21 日
- ・調査手法：インターネット調査

LGBT 総合研究所では、この他にも、衣食住、その他職場環境など広範な領域に対する、ストレート層と LGBT 層の意識を調査しています。今後、ますます LGBT をはじめとするセクシャルマイノリティに対し理解や取り組みが求められると想定される中、企業・自治体の CSR 領域の活動からマーケティング活動まで、向き合い方を検討するための資料としてこの調査を活用してまいります。

■株式会社 LGBT 総合研究所 会社概要

- ・社名 : 株式会社 LGBT 総合研究所
- ・本社所在地 : 〒107-0052 東京都港区赤坂 6-1-20 国際新赤坂ビル西館
- ・資本金 : 4300 万円（準備金を含む）
- ・代表取締役社長 : 森永 貴彦（もりなが たかひこ）



<プロフィール>

2011 年、株式会社大広入社。戦略プランナーとして、化粧品、トイレットリー、健康食品、製薬企業を中心に数多くの企業のマーケティング戦略立案、事業開発、商品開発、リサーチなどを担当。博報堂 D Y グループの AD+VENTURE プログラムを勝ち抜き、2016 年に同社を設立。LGBT 当事者として、セクシャルマイノリティに向き合う企業をマーケティング視点でサポートし、ダイバーシティ社会の形成を実現していくことを目指す。

- ・設立日 : 2016 年 5 月 9 日
- ・ホームページはこちら <http://www.lgbtri.co.jp>
- ・mail : contact@lgbtri.co.jp

※株式会社 LGBT 総合研究所は、博報堂 D Y グループ横断社内公募型ビジネスアイデア募集・育成プログラム「AD+VENTURE（アド+ベンチャー）」から生まれた社内ベンチャーです。博報堂 D Y ホールディングス傘下の出資目的の子会社である AD plus VENTURE 株式会社が設立いたしました。

【参考】「AD+VENTURE（アド+ベンチャー）」について

2010 年に、博報堂 D Y ホールディングスが事業会社である博報堂、大広、読売広告社、博報堂 D Y メディアパートナーズとともに開始し、現在は博報堂 D Y グループ傘下の 54 社を横断する社内公募型ビジネスアイデア募集・育成プログラム。